

昭和五年四月五日

東京府南葛飾郡吾嬬所小村井八五三

田島北三郎方ニ於テ

右凡三硝子合名會社

代表社員 田島 竹三郎印

從書員代表 所 一 郎印

附記組合組織ハ本件解決後適由時裁ニ成立セシムハク引續キ速
策中ニ付注意中

ニ及申(通)服候也

5. G. 3
1267

券秘第一六六七號

昭和五年五月二十九

警視總監

丸山 鶴吉

内務大臣 安達謙藏殿

社會局長官 吉田 茂殿

大阪 神奈川 府縣知事 殿

神保硝子工場ノ勞働爭議ニ関スル件 (發生)

要旨 (一) 價金不揮為職二十五名(全員)ハ即時支拂ヲ要求シ十九日ヨリ罷業ス

(二) 工場主ハ廿日ヨリ所在不明トナシ

(三) 勞働組合ハ廿五日工場内ニテ演說會ヲ催ス

標記工場ニ勞働爭議發生シシルガ狀況危記ノ通
記

二一九一自道